

改訂日 2014年4月 1日

作成日 2012年8月 22日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名：エルピアエースD-DダイマーII

構成試薬：「R-1」、「R-2」

製品コード：SYS-75B3Y

化学物質等の名称：アジ化ナトリウム

含有量：「R-1」0.07% 及び「R-2」0.05%

会社名：株式会社LSIメディエンス

住所 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

担当部署 薬事部

電話番号（緊急電話番号も同一）03-5577-0609

FAX番号 03-5577-0659

整理番号 1235

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	該当しない	
健康に対する有害性	該当しない	
	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	区分外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん）	区分外
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分外
環境に対する有害性	該当しない	
絵表示又はシンボル	なし	
注意喚起語	なし	
危険有害性情報：	なし	
GHS分類に該当しない危険有害性		

アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の

化合物を生成する危険性がある。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物（水溶液）

成分及び含有量

成分（危険有害物質）：アジ化ナトリウム

化学式： $\text{NaN}_3$

CAS No：26628-22-8

官報公示整理番号（化審法）：(1)-482

含有量：「R-1」0.07 % 及び「R-2」0.05 %

適用法令：

労働安全衛生法：指定物質（名称を通知すべき有害物質）  
：但し、本品は1%未満のため法適用外）

毒物及び劇物取締法：毒物指定物質  
（但し、本品は0.1%以下のため法適用外）

化学物質排出把握管理促進法：第1種指定化学物質  
（但し、本品は1%未満のため法適用外）

### 4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気の所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。必要があれば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗い流す。必要があれば医師の手当てを受ける。

眼に入った場合：直ちに多量な清浄水で15分以上洗眼する。必要があれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：速やかに口をすすぎ、必要があれば医師の手当てを受ける。無理に吐かせないこと。

### 5. 火災時の措置

消火剤：水噴霧、泡消火剤、乾燥砂類

使ってはならない消火剤：棒状放水、炭酸ガス、粉末消火剤、ハロゲン化物

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：

水拭き後、消毒アルコール又は次亜塩素酸ナトリウム液等で拭き取る。人体への措置は特に必要ない。

環境に対する注意事項：情報なし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：飲み込んだりしない。目や皮膚に触れないよう適切な保護具を着用する。

保管：直射日光を避け、冷蔵（2～10℃）で保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：情報なし

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：情報なし

保護具

呼吸器の保護具：特に必要なし

手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。

目の保護具：適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

「R-1」

物理的状态

形状：水溶液

色：無色

臭い：ほとんどなし

pH：中性

沸点：100℃

引火点：データなし

発火点：データなし

「R-2」

物理的状态

形状：ラテックス懸濁液

色：乳白色

臭い：ほとんどなし

pH：中性

沸点：100℃

引火点：データなし

発火点：データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性：法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる。

危険有害反応可能性：アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性がある。

避けるべき条件：情報なし

混触危険物質：情報なし

危険有害な分解生成物：情報なし

#### 11. 有害性情報：純物質として

急性毒性

経口：ラットの LD<sub>50</sub> = 45mg/kg (DFGOT vol.20 (2003))

経皮：ウサギの LD<sub>50</sub> = 20mg/kg (ACGIH (2001))

吸入：吸入（ガス）：GHS 定義における固体である。

吸入（蒸気）：データなし。

吸入（粉じん・ミスト）：データ不足で分類できない。なお、ラット LD<sub>50</sub> = 37mg/m<sup>3</sup> (RTECS (2008)) が報告されているが、ばく露時間が不明である。

皮膚腐食性・刺激性：情報なし

眼に対する重篤な損傷・刺激性：情報なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性：情報なし  
皮膚感作性：情報なし

生殖細胞変異原性：情報なし

発がん性：情報なし

生殖毒性：情報なし

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：情報なし

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：情報なし

吸引性呼吸器有害性：情報なし

#### 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性：情報なし

水生環境慢性有害性：情報なし

#### 13. 廃棄上の注意

使用した容器は、水で十分洗浄した後、慣例法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

本品単体の場合、大量の水と共に流してください。

#### 14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

15. 適用法令

消防法：適用されず

労働安全衛生法：適用されず

毒物及び劇物取締法：適用されず

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：適用されず

16. その他の情報

引用文献：

1. 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社
2. 毒物劇物データハンドブック 薬務広報社
3. PRTR-MSDS 対象化学物質の毒性ランクと物性情報 浦野紘平著 化学工業日報社
4. I C S C (J) (1997)
5. 危険物DB (2nd, 1993)

その他参考文献は各データごとに記載した。

本データシート内容につきましては、現時点での最新の情報を記載しておりますが、全てを網羅しているものではありませんので、取扱いの際には十分注意して下さい。又、記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。